

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【タイトル】

とある午後1時、

【作者名】

ティッシュユ

【あらすじ】

青春まつしぐらな少年と少女がとある午後1時、5時間目の授業に待ち受ける重大な課題について、討論を繰り広げる
・・・!!!

少年と少女

少年が伸びていた。中庭の木下にあるベンチに一人寝転がっている。梅雨も明け、日差しが肌に突き刺さるようになってきた。今日の頃のことである。気温はもうすでに夏と言っても過言ではなかった。だから少年は伸びていた。あまりの暑さのために。

「あつい……」

腕をだらんとベンチの横に垂らし、ズボンの裾を膝あたりまで曲げている。いくら木陰といえど、暑いものは暑い。どうしようもない暑さをしのげず、少年は少しイライラしていた。薄い水色のカッターシャツは汗で濡れている。どうにも喉が渴いた。そう思うが動きたくない。わざわざ日向に出てまで買いに行くものではないと判断された。しかし、不意にだれかの足音が聞こえてきた。

「……」

誰だろうかと考えると同時に、頬にヒヤリと冷たいものが触れた。

「!?!」

あまりの冷たさにガバツと身を起こして、頬に手を当てる。手の暑さが心地よく感じた。

頬から冷たさが引いたので顔を上げると、少年の目の前にはひとりの少女がいた。少し長い髪を下で二つにまとめている。

「……なんだ、流夏か」

「あらら……なんだ、なんて随分なご挨拶だね、悠永」

せつかく喉が渴いていると思ってジュース買ってきたのに。と言つて手に収めてある缶ジュースをゆらゆらと左右に振る。自然と目がジュースを追っていた。よほど喉が渴いていたのだろう。

しかし流夏はそんな悠永を見ても、なお笑みを深めるだけだ。決して自分からジュースを差し出そうとはしなかった。まったく、どれだけ性格が悪いのだから。悠永は心の中で一人ごちながら、流夏に手を伸ばす。

「ジュース頂戴」

正直に言えば口のなかは砂漠だった。喉の膜と膜が引っ付いていてとても気持ちが悪い。さっさと水を長さ投げれば、唾さえも飲み込めなくなってしまうそうだった。

「あら、せっかく買ってきたのに。もうちょっとありがたーくしてくれないと」

どれだけ注文をすれば気が済むんだ……。悠永は再び一人ごちた。「流夏さんジュースを買ってきてくれてありがとうございます。そのジュースをこの俺にくれるととても嬉しいです」

「すごく見事な棒読み！」

抑揚の「よ」の字もないセリフに翔さんの言葉を送る。流夏は苦笑しつつも悠永にジュースを渡した。結局くれるのならさっさと渡せばいいのに、なんて思っても口には出さない。ありがたく、大切そうにジュースを飲んで喉の膜を潤わせた。冷たいものが喉を下っていく感触がありありと伝わってきて、心地よい。これではらくは大丈夫だろう。ホッと息を吐いた悠永は心底安心していた。

「てゆか、良くここにいてってわかったね」

一段落ついて、暫くのんびりと静かに過していったところ、ふと思い出したように悠永が疑問を口にした。

「え？ああ、ちょうどあそこから見えたの」

そう言って流夏が指差したのは第2渡り廊下だった。この学校は左右二つの対照的な建物で構成されている。その二つを結ぶのが、第一渡り廊下と第二渡り廊下だ。単純に、下が第1、上が第2と読んでいるだけの話である。なるほど、確かにあそこならここもバッチリ見える。悠永は一人納得する。

「悠永さんが干からびていたから、水を与えに来たのですよ」

ドヤ顔を決めながらそう言う流夏を流して、悠永は改めて第2渡り廊下を見た。夏がコンクリートの壁を照らして、陽炎が揺らめいていた。暑い。そう思った。

「それより、昼ごはん食べたの？」

「あー、食べたよ」

ほら、と言って指をさした先には弁当入れが一つ無造作に置かれて

いた。ひょいと持ち上げるととても軽い。空だと一瞬でわかった。それを元の位置に置いて、ベンチに座る。ちょうど悠永が袖で汗を拭っていた。肘が邪魔だった。

「5時間目なんだっけ」

「確か数学」

「うわ、まじか」

数学、と聞いた瞬間露骨に嫌な顔をする悠永に笑いながら、流夏はしゃべる。

「宿題やった？あれなんか意味わからなかったんだよね」

「ああ、大問9の(3)だろ？俺もう飛ばしたわ」

「あ、私も飛ばした。あんなの解けないよね」

「無理無理」

「あんな問題作るほうが悪い」

「だよな！解けない俺たちは悪く無い！」

「そっくだそっくだ！」

アハハ、と笑う悠永につられて流夏も笑う。ジワジワと汗がにじむ、午後1時。青春まっしぐらな若者たちは、宿題の難しさについて主張し合っていた。